

SLTコンタクトレーザーシステム メディカル・レーザー



入賞 (株) エス・エル・ティ・ジャパン

レーザー光は従来、医療の分野では非接触のビームとして使われてきた。これに対し、この技術は耐熱透光性の人工サファイアクリスタルを導光体として利用し、しかも導光体に幾何学的デザインを採用しているためレーザー光を集光、拡散でき、レーザーの特性である加温、凝固、蒸散、切開を在来型メスと同じ感覚で使える。

これによって、止血切開、治療効果の高い手術、術後感染の防止、術後疼（とう）痛の軽減などに役立つという。このコンタクトプローブと同時にレーザー光を導く導光ファイバー、レーザーの発生装置なども開発、コストも在来品の2分の1ないし3分の1に引き下げることに成功した。

このため、狭い分野に限られていた医療用レーザーの用途は、手術室に限らず放射線室、外来治療室、ベッドサイドなどにも応用拡大されるという。